

防災会からのお知らせ

「大災害なんてそう簡単に起こらない」「何十年に一度の災害のために訓練なんて緊張感がない」という言葉をよく耳にします。自主防災組織の訓練が継続的に行われない理由の一つであり、地域防災が向上しない要因でもあります。

確かに、大地震の発生は数十年・数百年サイクルとも言われ、気象観測などの進歩により、風水害についてもある程度の予知が可能になりました。しかし、阪神・淡路大震災を誰が予測できたでしょう。今年の台風23号の豪雨も、時間が経てば収まってくると思った人も少なくないと思います。また、大災害を引き起こしたスマトラ沖大地震・巨大津波は誰も予測できませんでした。災害はいつ発生するか分かりません。100年後かもしれませんが、数時間後かもしれません。

グリ-ンシティ防災会では、本年度より、「災害図上訓練DIG」を防災訓練に取り入れ活用していきたいと考えています。「災害図上訓練DIG」は、Disaster(災害) Imagination(想像力) Game(ゲーム)の頭文字を取って名付けられたものです。「掘り起こす、探求する、理解する」という意味の英語digに、「防災意識を掘り起こす、地域を探求する、災害を理解する」という意味を重ね合わせています。

地震・風水害に加え、社会問題となっている放火火災も想定の対象としています。防災会役員だけでなく誰もが参加でき、近隣同士でコミュニケーションを取りながら、地域の防災について楽しくかつ真剣に考えることができます。また、継続的に取り組むこともできます。地域の特性や実状を取り入れた訓練を通して、地域の防災コミュニティ形成が一層活発になればと思います。

2005年もグリ-ンシティ防災会活動に積極的に参加してください。